

森づくり「森林インストラクターの森」  
活動報告

活動日：2023年9月10日

報告者：芳野光夫

参加者：池田、横山、沖本、星野、近江、  
辰尾、田崎、芳野（8名）

9月10日、台風が去って蒸し暑い朝、8人が集まって森林インストラクターの森に向かいました。最初に会長より、5月～7月に動物カメラに熊の写真が写って居たと報告が有り、その対応と注意について話して頂きました。役場にも相談に行って担当者に調べて貰ったとの事でした。幸い、この近辺に熊の営巣は確認されなかった事など説明されました。

私は10年ほど前から、日本蜜蜂の巣箱を設置して置いたが、簡単には蜜蜂は入りませんでした。ようやく蜜蜂が入ったと思ったら、啄木鳥に大きな穴を明けられ全滅しました。ここ5年程は蜜蜂が巣作りした翌月には、巣箱が壊される状態でした。一度も蜂蜜を採取することが出来ず諦めていました。今年も6月に蜜蜂がいっぱい集まり巣作りを始めたと思ったら7月の活動日には滅茶苦茶に壊されていました。まさかこの様に人家の近くの里山に、熊が出没するとは思ってもありませんでした。

今日の作業は、壊された巣箱と他の2か所の巣箱の撤去行いました。また私達の活動範囲を示す為の下刈りを行いました。森は市町村を跨いで広く繋がっています。熊や鹿は餌を求めて行動しています。これからは、森には野生の動物が暮らしている事を、考えながら活動する事が大事だと考えさせられました。

